

## 障害者施設における現状と需要調査（区内14か所中14か所）集計結果

## 【調査概要】

本調査は、障害の重い方を受け入れている区内生活介護事業所の実態を把握することで、今後必要とされる重度障害者のグループホームの需要と区に求められる支援策の検討を行うため、区内生活介護事業所14施設を対象に実施しました。令和2年度第3回目協議会において、途中集計について報告し、今回は集計結果です。

令和2年4月1日時点

## 1 生活介護施設の定員と登録者数について

定員：566名（登録者数：566名（医療的ケア：29名）

## 2 登録者の性別による数

男性：343名、女性：223名

## 3 登録者の方の現在のお住まい

自宅：392名、GH：125名、入所：47名、その他：2名

## 4 登録者の方の障害状況（手帳所持者数）※カッコ内は医療的ケアが必要な方

知的：367（1）、身体：17、知的・身体：173（28）

## 5 登録者の年齢層と障害者支援区分

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
区分なし	0	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	1	0	0
区分2	0	0	0	3	2	6	4
区分3	1	7	9	21	15	10	5
区分4	8	31	23	43	14	10	5
区分5	8	45	37	44	22	8	2
区分6	12	58	49	35	20	6	2

## 【区生活介護事業所利用者の分析】

14施設の利用者の年齢層は多岐にわたっているが、特に20代（24.9%）、40代（25.8%）と多くみられる。区分では区分4以上の方が85.16%と大部分を占めている。住まいとしては自宅（69.3%）、グループホーム（22.1%）、入所施設（8.3%）という状況であり、今後グループホームに住むことを希望する可能性がある方も一定数いることがうかがえる。

6 今後必要と想定されるグループホームの種別及びサービスや設備

中軽度GH	9
重度対応GH	25
入浴介助リフト有	11
エレベーター有	18
食事支援有	14
その他（具体例と数）	3 ・リフト付き福祉車両1 他

※GH数は回答があった事業所の○の数

7 7の質問について、GHの利用を希望する方は何年以内の利用を検討されていますか

1年以内	3
2年以内	5
3年以内	6
将来的に	7

※GH数は回答があった事業所の○の数

ご意見	・将来的ではあるが、保護者が高齢になっているので早めの対応を望みます。他
-----	--------------------------------------

8 今後どのようなグループホームの形態が求められるとお考えですか

介護サービス包括型	8
日中サービス活動支援型	6
その他	4

ご意見	・施設入所から地域のGHに移行する方は日中サービス活動支援型が必要で、それ以外は通所送迎ありのGH等が必要。他
-----	---

9 通所されている方やそのご家族の様子から今後どのようなグループホームがどのくらいあれば有効な活動ができるとお考えですか。

・強度行動障害の方でも安心して受け入れてくれる支援員がいるGH。他

10 貴法人において、今後、葛飾区内に重度障害や障害がある方の高齢化に対応した施設の整備を検討されていますか。具体的な設置時期や運営計画がありましたらご記入ください。

・高齢化についての検討はしていますが、具体的に決まってはいない。他

11 上記11において、グループホームを運営するうえでどのような支援策（整備費等）が必要とお考えですか。

・GHに限らず、施設の運営には施設の整備費、人件費の支援が必要と考えます。他

12 その他の意見

・重度でも生活するのにグループホームに入れてほしい、親なきあとにもこれまでの生活と変わらないように。他